



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第49号

令和2年
2月5日



西塩屋海岸から望む初日の出

【目次】

新議会スタート P2

12月定例会 主な補正予算・条例・・ P4

人事案件・所管事務調査 P5

市民と語る会 P6

一般質問 P7

新議会がスタート



南九州市となつて4回目
の市議会議員選挙で新
議員3人を含め20人の議
員が決まりました。
初議会は12月25日に開
催され、議長・副議長、
委員会の構成などを決め
ました。

議長 加治佐民生



副議長 吉永賢三



議長あいさつ

議長就任にあたり、市民の皆様へ一言ごあいさつを申し上げます。
この度、議員の皆様のご支持をいただき、南九州市議会議長に就任いたしました。重責ではありますが、議員各位のご協力をいただきながら、その責務を果たせるよう円滑な議会運営に努めていく所存でございます。
市政の意思決定機関として、また、市の行政運営を監視する機関としての役割を果たすために、提言提案の充実とチェック機能の強化を図ることはもとより、市民と語る会の開催や議会中継、議会だよりの充実などに取り組みむことで市民の皆様との情報の共有化により、皆様の付託にこたえられるよう努力してまいります。
本市は、合併後13年目を迎えました。現状を見ますと、少子高齢化などによる人口減少に歯止めがかからず、財政的にも

非常に厳しい状況が続
き、さらに行政改革を進
めていく必要がありま
す。また、経済面でも、さ
つまいも基腐病の発生や
茶価の低迷などの課題も
山積しております。これ
らの難局を乗り越えてい
くためにも、これまで以
上に、市民の皆様、執行
部、議会が一体となつて、
南九州市の発展に尽くし
ていかなければなりませ
ん。皆様の率直なご意見
やご要望などをぜひ議員
の耳にお届けいただきた
いと存じます。
最後に、今後とも「議会
だより」の一層のご愛読
をお願いいたしますと
もに、皆様のご健勝とご多
幸をご祈念申し上げます。
あいさついたします。

議会運営委員会

議会の運営、議会の会議規則、委員会条例などに
関する事項について調査・審査を行います。



今吉賢二
竹迫毅
加治佐民生
蔵元慎一
◎吉永賢三
米満孝二
○松久保正毅
大久保太智
◎は委員長、○は副委員長
(以下、同様)

常任委員会の構成

総務常任委員会

市の財政や税、交通・防災、行政改革、まちづく
りなどに関する事項について調査・審査を行います。



大倉野由美子
加治佐民生
○竹迫毅
川畑実道
◎松久保正毅
上赤秀人
山下つきみ

文教厚生常任委員会

福祉や介護、保険、教育などに関する事項につ
いて調査・審査を行います。



浜田茂久
大倉野忠浩
○蔵元慎一
◎大久保太智
西山一
内園知恵子

産業建設常任委員会

農業や住宅、道路、水道、商工観光などに関する
事項について調査・審査を行います。



西次雄
取違博文
◎今吉賢二
日置友幸
○米満孝二
吉永賢三
菊永忠行

一部事務組合議会の議員

() 内は構成団体

◆南薩介護保険事務組合

(枕崎市 南さつま市 南九州市)
加治佐民生 吉永賢三 大久保太智 蔵元慎一
介護保険法の規定に基づく介護認定審査会の
審査判定業務、要介護認定及び要支援認定に関
する事務

◆南薩地区衛生管理組合

(枕崎市 日置市 南さつま市 南九州市)
加治佐民生 松久保正毅 竹迫毅
ごみ・し尿処理施設の設置及び管理運営

◆指宿南九州消防組合

(指宿市 南九州市)
加治佐民生 吉永賢三 松久保正毅 竹迫毅
消防に関する事務

◆指宿広域市町村圏組合

(指宿市 南九州市)
加治佐民生 松久保正毅
ごみ・し尿処理施設の設置及び管理運営

一部事務組合は、行政の効率化・効率化を図る
ため、特定の事務を関係の市町村で共同処理する。

企業立地促進補助金などを補正

一般会計補正額
補正後予算総額

3億933万円
229億7710万円

12月定例会

総務費

企業立地推進事業費

5349万円

立地企業が新規地元雇用などの補助金交付要件を満たしたことに伴い、補助金を計上するもの。

問 補助金交付要件は、

答 市と立地協定を結び、投下固定資産総額が2千万円以上で、操業開始から3年以内に5名以上の新規地元雇用が交付要件である。



日本水産（株）（頤娃町別府）

ふるさと寄附金事業費

2億6263万円

ふるさと寄附金収入の増額見込みに伴い、返礼品費用や送料等の事業費を増額するもの。

問 今後、寄附金の伸びが見込めるか。

答 前年度と比較して、全国的には市場規模が拡大し、本市では約5.4%増となった。今後増加する余地はあると見込んでいる。

民生費

私立保育所等運営費

8798万円

幼児教育・保育の無償化制度に伴う給付費の増額及び前年度実績確定に伴う子どものための保育給付費負担金超過分の返還額を増額するもの。

農林水産業費

流通対策事業費

596万円

葉たばこ共同乾燥施設の効率的利用により葉たばこの生産安定を図るため、川辺共同乾燥施設利用組合の大型乾燥機導入に要する経費へ補助するもの。

問 当初予算ではなく補正計上となった理由は、

答 S63年に導入した施設で、経年劣化により乾燥した葉たばこに品質低下が見られたことから急きよ事業を導入することになった。JTの葉たばこ生産性向上対策事業を導入し、補助率は50%である。市は、事業費の10%以内で補助する。

教育費

東京2020オリンピック聖火リレー費

642万円

2020年に開催される東京オリンピックの聖火ランナーが南九州市内を走行することから、交通規制用標識・看板設置費等の事業費を負担金として計上するもの。

条例の一部改正

南九州市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部改正

委員定数の見直し
農業委員
20人 ↓ 19人
農地利用最適化推進委員
20人 ↓ 21人
※令和2年7月20日から適用

委員の意見

契約は法人と締結し、トラブル等が発生した場合は法人が責任を持つて対処するとのことである。

しかし、住宅の管理や地域とのトラブルがないようにするためには、入居者の配慮も必要である。
法人から入居者へ留意を促すことを契約等に明記し、地域住民と外国人技能実習生が円滑に地域生活を送れるよう臨んでいただきたい。

南九州市一般住宅条例の一部改正
一般住宅を定住促進と企業支援の一環として、社宅使用できるよう改正するもの。

問 改正の経緯は。

答 外国人技能実習生を雇用する市内の事業所から、空いている市営住宅を使用できないかとの問い合わせが多くあり、改正に至った。

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員◆

任期は令和2年1月8日から令和5年1月7日まで



射手園 郁男 氏
知覧町 郡



福元 文治 氏
頤娃町 牧之内



久松 広充 氏
川辺町 田部田

◆教育委員会委員◆



海江田 宗順 氏
川辺町 高田
任期 令和2年1月8日から
令和6年1月7日まで

◆監査委員◆



有水 秀男 氏
川辺町 野間
任期 令和2年1月7日から
令和6年1月6日まで



日置 友幸 氏
川辺町 上山田
任期 令和2年1月7日から
令和5年12月22日まで

常任委員会所管事務調査報告

常任委員会では、議会閉会中に様々な行政の取組みに関して、調査事項を定めて調査を行います。
12月定例会において、調査報告と執行部への提言を行いました。

【総務常任委員会】

調査事項：未利用公有財産の状況について
調査目的：利用計画のない公有財産の有効活用
提言：公有財産活用等検討委員会の活性化、境界確定が困難な物件の貸付検討など

【文教厚生常任委員会】

調査事項：学校のあり方について
調査目的：小規模校の課題対策
提言：小中一貫校・義務教育学校の導入やフリースクール形態の学びの場の提供など、今後の学校のあり方について調査研究に努めることなど

【産業建設常任委員会】

調査事項：畑地かんがい事業の現状と課題について
調査目的：本市の農業にとって重要な畑地かんがい事業の課題の把握と今後の対策
提言：施設の大規模更新に伴う事業費の負担軽減を図ることなど

市議会では、令和元年8月に「薩摩鶏心会」、「顕姓地区畑地かんがい営農振興会」、「スポーツ推進委員会」の皆さんと市民と語る会を開催しました。

1 労働力の確保

要望 労働力不足の解消に向け、外国人技能実習生制度の活用とその受入体制の整備を図っていただきたい。

回答 J A いぶすきが取り組む「外国人技能実習制度を活用した人材確保システム」、J A 南さつまが取り組む「無料職業紹介を核とした人材確保システム」など、各機関との連携を図りながら支援を行いたい。

2 耕畜連携の推進

要望 養鶏業では鶏糞の処理が経営を圧迫している。他の畜糞との調整や耕種部門のニーズなどを集約し、本市の耕畜連携が効率的に機能するよう支援していただきたい。

回答 飼養規模拡大に伴い、鶏糞量も増加し、その取り扱いに苦慮していることは承知しているが、市としては畜産クラスター事業などを活用した施設整備とともに家畜排せつ物の適正な処理をお願いしている。

3 後継者不足解消

要望 後継者の確保のため、高収益作物の調査研究、優良農地の確保、農

4 畑かん事業の今後の課題

要望 畑かん事業は、事業開始から40年以上が経過している。将来の地域農業を見据え、受益者の要望に即した利用のあり方など、関係機関と協力しながら推進していただきたい。

回答 畑地かんがい施設の配管及び給水栓等は、老朽化に伴う漏水等が増加傾向にある。営農

への影響と維持管理費等を軽減するため、県営事業及び国営施設においても現在、更新事業を実施している。

なお、本市の農業従事者の高齢化、担い手不足を踏まえると、大型機械による営農への転換が予想される。農地の畦畔除去等による区画拡大、客土等の整備について地元からの要望があれば関係機関と連携し、事業実施につながるよう取り組んでまいりたい。

5 健康づくりとスポーツ推進

要望 市で「健康と運動を考える日」を設定するなど、子どもから高齢者まで運動に親しむことのできる環境を整備していただきたい。

回答 市民体育大会等で、自由参加型の体力テストやユニーススポーツ等を実践し、スポーツの大切さ、健康の大切さを実感していただく活動を行っている。

6 体育施設等の整備

要望 長期的な視点での体育施設の整備計画を策定し、大規模な大会を開催できる総合体育館等を整備していただきたい。

回答 総合体育館建設を求める声もあるが、現在の使用状況や市民の利便性、財政負担などを考



テーマ別に分かれて意見交換を行いました。
(写真は、スポーツ推進委員の皆さん)

サツマイモの病害対策

内園 基腐病等の被害が拡大している。薬剤購入補助や種芋の配布など支援策を講じる考えはないか。

市長 病害に対し、発生後の登録農薬がなく、農薬での防除はできない状況である。国・県が農薬メーカーと連携し、新農薬登録に向け取り組んでいる。基腐病については、国から土壌消毒剤やウイルスフリー苗等の支援策が示されたところである。

内園 農家の方々に広く周知していただきたい。

市長 国への申請期日が迫っているため、今回は防災行政無線で説明会の開催を呼びかけることとした。多くの生産者に参加していただき、適正な申請をしていきたい。

マイナンバーカードの普及促進

大久保 1月から住民票等をコンビニで取得できるようになる。

窓口に来られた市民一人ひとりに声をかけ、チラシ等を配布するなど、マイナンバーカードの取得普及につなげていく考えはないか。

市長 そういった意見を取り入れながら、より一層市民への周知に努める。

大久保 住民票、印鑑証明書、所得証明書等はコンビニ発行できるが、戸籍抄本等については、今後コンビニで発行できるようにするか。

市長 戸籍抄本等のコンビニ発行には、システム導入に多大な費用がかかる。戸籍抄本等の発行件数を勘案し、今後検討する。

ICT教育の現状と今後の展開

日置 教育のICT(情報通信技術)化について、現状と今後を問う。

教育長 市内全ての小中学校のパソコン室に児童生徒用タブレットが完備されている。

また、市内中学校及び児童数100人以上の小学校には、校務支援システムを導入している。

導入されていない残りの学校については、早急の導入できるよう検討する。

日置 先生や児童生徒の利用を促進しサポートする「ICT推進員」の必要性をどう考えるか。

教育長 導入に向けての研究をしていきたい。

高校活性化

吉永 各産業において、人材の確保が課題である。技術者の育成を図るため、新たな学科の設置を高等学校活性化対策協議会へ働きかける考えはないか。

市長 県は、県教育振興基本計画に、学科や地域の実情を踏まえ、個別にあり方を検討していくことを明記している。

市内3高等学校はそれぞれの活性化協議会を中心に新入生確保に取り組んでいる。

今年度、3高等学校の活性化協議会会長、校長及び行政による市内県立高等学校活性化対策連絡会で情報共有や課題解決に向け検討を行った。連絡会を軸に積極的な議論を行い県教育委員会へ働きかけていく。

茶業振興の活性化策は

鮫島 近年、お茶の価格が低迷し、茶業農家の経営を圧迫している。茶業の活性化策について方針を問う。

市長 短期的な荒茶価格の上昇が望めないことから、生産面では、茶工場再編や一貫経営法人の育成、多種多様な茶の生産を推進している。流通面では、首都圏での知覧茶プロモーションの展開、知覧茶サプリの開発、ホームページの開設、輸出対策に取り組んでいる。

市総合振興計画やかごしま茶未来創造プランに基づき、儲かる茶業の実現に向け、関係機関一体となり推進する。

また、令和2年11月に知覧文化会館において、全国お茶まつりを開催し、日本一の茶産地として魅力を発信していく。

その他の質問
○農業の振興について

市民の声を行政に問う

令和元年12月定例会 一般質問 8人が登壇

その他の質問
○英語民間検定試験導入の見解
○河川管理の強化

その他の質問
○万之瀬川の寄洲除去
○ハザードマップの見直し

その他の質問
○イベント補助金
○防災対策

防災減災対策の 見直し・強化

大倉野 由美子 議員

大倉野 7月の豪雨災害

では高齢者や要支援者など多くの市民が避難した。避難所の開設、避難誘導、避難所の設備など改善が必要ではないか。

市長 避難所に関する意見などは届いていない。

避難所運営マニュアル等に基づく避難者支援や広報紙等による防災情報の提供など市民の防災意識啓発に努める。

大倉野 氾濫を繰り返している大谷川流域についてもハザードマップを見直すべきではないか。

市長 新たな土砂災害警戒区域の見直し、浸水危険予想区域など情報収集を行い、県、市ともにハザードマップの見直し作業を行う。

その他の質問
○国保行政
○高校卒業までの医療費無償化

汐見原地区の 農地開発

竹迫 毅 議員

竹迫

農地開発にあたっては、表土の流出がないよう実施すべきと考え。農地保全に留意した施工を予定しているか。

市長

本事業は、山林を開畑し、区画整理や排水路等の整備など、農地を将来の営農形態に適合した生産性の高い条件に整備することにより、経営規模の拡大等を図り、農業経営の安定化を目指すものである。

現在は、事業採択に向けて県と協議を行いながら所有者に対し事業への仮同意徴集を進めている。

今後の計画策定時には、農用地の表土流出を軽減するため、ほ場勾配を緩くすることや浸食等を防止するための農地保全対策、沈砂池等の設置を考慮していく。

その他の質問
○サツマイモ基腐病対策

郷土芸能・伝統行事 の保存と活用

大倉野 忠浩 議員

大倉野

郷土芸能や伝統行事は、地域固有の文化を育む貴重な地域資源である。現状認識を問う。

教育長

国、県指定のものが3件。市指定のものが9件。過疎化・高齢化等により既に途絶えたものも多くある。現在、継承されている中では、毎年実施されるもの、数年おきに実施されるもの、不定期のものがある。

大倉野

郷土芸能や伝統行事に対する具体的支援策は。

教育長

伝承活動、記録保存に要する経費に対して補助制度を設けている。市広報紙等で制度の周知を図っていく。

郷土芸能や伝統行事を継承することは、地域の方々に誇りと愛着をもたらし、地域づくりに意義あるものと考えている。今後も引き続き支援していく。

議会の動き

- 12月15日 南九州市議会議員選挙
- 16日 当選証書付与式
- 20日 議員懇談会
- 25日 第7回臨時会
- 1月17日 南九州市議会議員研修会
- 21日 県市議会議員研修会

【3月定例会】

- 2月12日 議会運営委員会
- 18日 本会議（開会：施政方針）
- 21日 議会運営委員会
- 25日 常任委員会（補正予算審査）
- 3月3日 本会議（補正予算採決、一般質問）
- 4日 本会議（一般質問）
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 常任委員会（当初予算審査）
- 9日 常任委員会（当初予算審査）
- 10日 常任委員会（当初予算審査）
- 25日 本会議（閉会：当初予算採決）

編集後記



新しい広報編集委員

年号が平成から令和に変わりましたが、大川自治会評議員による児童の下校時をサポートする活動は長年行われています。この活動は、児童を事故・事件から守るために自治会の年間行事として行われており、児童の下校時間に合せて、大川から別府小学校間の約一キロを徒歩で迎えに行き、児童と一緒に下校します。ある評議員の方は「子供達との会話がうまれ、楽しい時間帯です」と嬉しそうに話してくれました。ま

た、「一緒に歩くことで健康増進になる」とも話してくれました。活動を継続することで、安全で安心できる地域づくりに繋がることを願っています。

（米満）

▼広報編集委員会

委員長 米満 孝二
副委員長 内園知恵子
委員 西山 一
取違 博文
上赤 秀人
山下つきみ